

【短報】福井県におけるタカオチビゴミムシの記録

タカオチビゴミムシ *Paragonotrechus paradoxus* S. Uéno, 1981 は、東京都八王子市高尾山で採集された個体を基に新属新種として記載された。その後、神奈川県山北町（平野, 2007）、同津久井町（平野, 2007）、静岡県黒法師岳（Uéno, 1988）、山梨県精進湖（Uéno, 1988）、長野県犀鉾泉（北山, 1999）、富山県砺波市小牧ダム（上野・高野, 1990）などから散発的に記録されている。体は淡色で地下浅層から得られる場合が多いが、有眼有翅であり、夏期の夜間には地表に現れ灯火へ飛来した例も報告されている（Uéno, 1988）。

Paragonotrechus 属は中国からも数種が記載されているが、日本からは現在のところ本種 1 種のみが知られている（Uéno & Yu, 1997）。本種の西限産地はこれまで富山県砺波市であったが、さらに西の福井県における採集例を報告する。

1♂1♀、福井県勝山市村岡町浄土寺（標高 400 m）、9. V. 2010、鎌田邦彦採集。

浄土寺は砺波市小牧ダムから南西へ約 70 km 離れた地点である。小牧ダム産の標本（1♀）は模式産地の標本と比較して、前胸部がやや狭く、基方へあまり狭まらないことが指摘されている。浄土寺の個体も前胸側縁の張り出しが弱く、同様の傾向を有しており、各計測データは次のとおりである。PW/HW：1.33（小牧ダム産 1.32）、PW/PL：1.14（同 1.11）、

EW/PW：1.79（同 1.82）、PW/PB：1.27（同 1.28）、PB/PA：1.22（同 1.26）。♂交尾器については、原記載の図と比較して明らかな違いを見いだせなかった。

今回の個体は、大きめの礫を含む間隙の多い土砂堆積層から、マスゾウメクラチビゴミムシ *Suzuka masuzoi* (4exs., 鎌田邦彦・芦田久採集)、ナガチビゴミムシ属の未確定種 *Trechiana* sp. (1♂1♀, 芦田久採集) とともに得られた。

末筆ながら、福井県における本種の記録の有無を調べていただいた保科英人博士に感謝する。

引用文献

- Uéno, S.-I., 1981. A remarkable new trechine beetle found in a superficial subterranean habitat near Tokyo, Central Japan. *J. speleol. Soc. Japan*, 6: 1-10.
- Uéno, S.-I., 1988. Flight of *Paragonotrechus paradoxus* (Coleoptera, Trechinae). *Kontyû*, Tokyo, 56: 459-460.
- 上野俊一・高野 勉, 1990. 日本海側から記録されたタカオチビゴミムシ. *Elytra*, Tokyo, 18: 174.
- Uéno, S.-I. and Yu, P., 1997. Two new trechine beetles (Coleoptera, Trechinae) from Hubei, Central China. *J. speleol. Soc. Japan*, 22: 24-36.
- 北山健司, 1999. 長野県におけるタカオチビゴミムシの採集記録. *ねじればね*, (84): 13.
- 平野幸彦, 2007. 甲虫目 (カミキリムシ科を除く). 丹沢大山総合調査学術報告書 丹沢大山動植物目録. pp. 98-236.

(芦田 久 599-0236 阪南市桃の木台 6-11-2)
(鎌田邦彦 565-0851 吹田市千里山西 4-37-7-203)

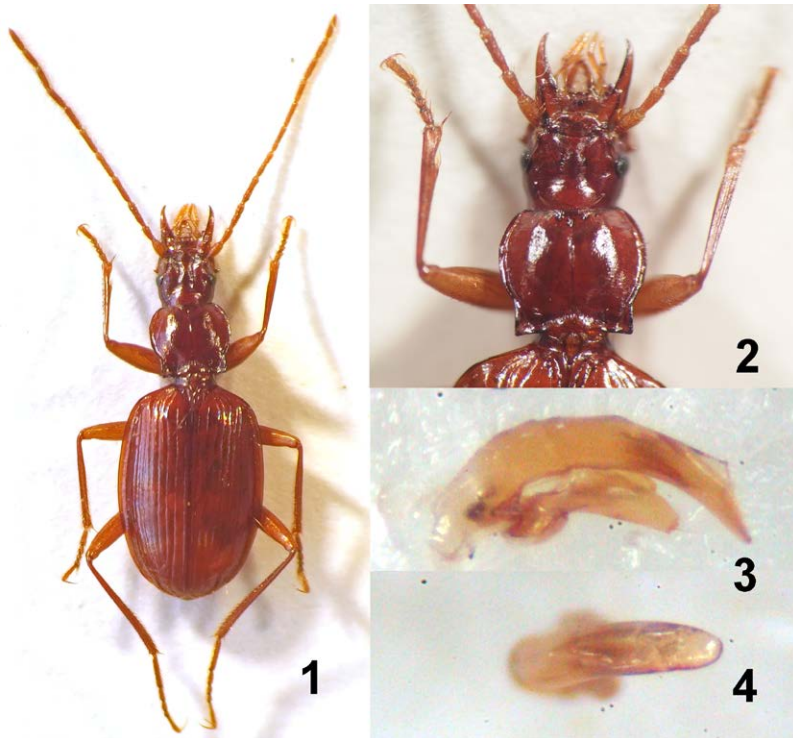


図1-4. 福井県産タカオチビゴミムシ. 1, 背面図; 2, 前胸背板と頭部; 3, ♂交尾器側面; 4, ♂交尾器背面.